

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

目指す姿

X線技術を中心とした最先端の分析ソリューションで技術イノベーションを支援し、「
見るチカラで、世界を変える」を実践する

XRD国内市場シェア
76%

XRDグローバル市場
26%

半導体X線計測市場シ
38%

多目的分析機器売上成
7平均年率%

2 中長期の経営戦略

1. Lab to Fab戦略

大学・研究機関の研究開発(Lab)から産業の生産プロセス(Fab)へ、
新たな分析技術を標準化・展開する

3. Pillar2：半導体プロセス・コン…

X線計測機器で市場リーダー地位確立。グローバル上位10社すべて
との取引関係構築

2. Pillar1：多目的分析機器

先端的なX線分析ソリューション提供と海外市場成長加速。2027年
までにXRD・XRF市場平均成長率4.6%を上回る約7%の成長を目指す

4. 要素技術への投資強化

PhD学位保持者を含む約300名のX線技術者と世界の研究機関とのパ
ートナーシップで、差別化されたX線要素技術力を継続開発

3 対処すべき課題

① 市場ニーズへの対応

- ・ 新材料開発、医薬品研究、健康・環境分野でのX線分析ニーズ増加に応える
- ・ アカデミア・産業分野の多様な研究開発ニーズへの対応強化
- ・ 先端技術イノベーション分野での新ソリューション提供機会の取込

② グローバル展開の加速

- ・ 海外市場でのプレゼンス浸透と販売シェア拡大の余地活用
- ・ セールス、サービス、アプリケーション人材の海外配置強化
- ・ グローバル市場での競争力強化

③ 技術力の強化と新領域開拓

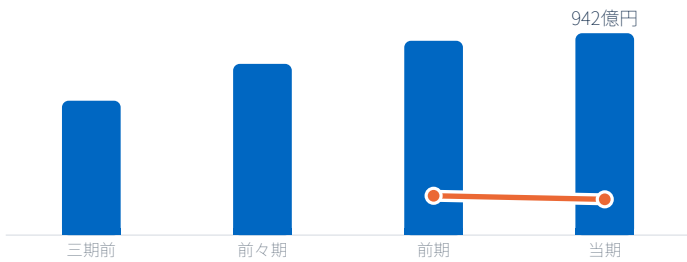
- ・ AI・マシンラーニング等新能力の外部パートナーシップ確立
- ・ X線を補完する他の分析技術分野への選別的参入
- ・ M&A投資等による戦略的な成長機会の活用

面接で使えるポイント

- ・ X線回折機器で国内76%、グローバル26%のシェアを持ち、半導体X線計測ではグローバル・リーダー
- ・ 約300名のPhD保持者含む高度な専門家とグローバル研究機関との協働で、他社にない差別化されたX線技術力を開発
- ・ Lab to Fab戦略で研究開発から生産プロセスへの展開を通じ、多様な分野の技術イノベーション支援を実現

証券コード 268A

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
942億円営業利益率
17.7%財務健康度
67点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 62.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
1,008万円

精密機器内 2位/50社

平均年齢
48.4歳

精密機器内 6位/51社

平均勤続
9.5年

精密機器内 36位/51社

女性管理職
23.6%

精密機器内 7位/39社

男性育休
100.0%

精密機器内 3位/35社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: リガク、世界最高水準の研究基盤を活用し、次世代半導体計測技術

